

令和3年度石巻食品輸出振興協議会 事業実績

■広域連携の確立

- ・JETRO香港の農林水産・食品コーディネーターである彦坂久美子氏を講師に招き、現在の香港の社会情勢や市場動向についての講演を行った。
- ・アメリカとの国際交流や販路開拓を所管している宮城県国際企画課と連携し、ニューヨークやシアトルで開催の物産展に本協議会事業者から農水産品を出品した。

■共同輸出に向けた体制強化

①幹事会の開催 3回

共同輸出の自立的な取組みを目指し、販路拡大・獲得に向けた事業の検討や輸出業務を担う人材の確保・育成に関して協議を行った。

②事業者ヒアリングの実施

幹事及び商品登録事業者へ本協議会の運営体制に関するアンケート・ヒアリングを行い、現状の課題や要望、改善点の整理をすることができた。

より効果的な事業実施ができるよう、今後の組織運営に反映させていく。

③メンバー会議の開催 11回

協議会事業に対する意見交換や各事業者が持つ輸出情報の共有、各種商談情報の提供等が行われ、事業者間の連携に繋がったほか、事業実施主体となる事業者の意見を事業へ反映することが出来た。

④輸出可能商品の拡充

商品リストの更新・拡充を行った。

⑤相談体制の確立

事業の円滑化を図るため、輸出実務に係る相談体制を整え、各種輸出情報の提供、事業者への訪問・相談を随時行った。(令和3年度の相談件数は、約100件)

⑥規制・認証面アドバイザーの起用

アメリカへの輸出拡大に向けて規制面、認証面に精通するアドバイザーを顧問契約。

■輸出拡大に向けた取組み

①輸出促進に係る補助制度

共同輸出促進に向け、混載輸送費の一部を助成した。(令和3年度の補助件数は、1件)

②バイヤーへの営業活動

- ・ SENDO ICHI（マレーシア輸入卸）より4社にサンプル依頼があり提供。うち2社で商談成立、納品済み。
- ・ ドン・キホーテ(PPIH グループ)より協議会事業者3社に対し商品引き合いがあり、11月より取引開始。
- ・ 協議会事業者が持つベトナムの顧客に対し、金華サバ500kg、牡蠣8,000kgを混載出荷した。
- ・ GET FRESH（香港のEC）より引き合いがあり、協議会事業者数社の商品を提案。うち1社受注、納品済み。他社においては商談継続中。

③オンライン商談会への参加

新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインでの商談が急速に普及しており、本協議会でも以下のオンライン商談会へ参加した。

- ・ 9/13～17 中小機構東北オンライン商談会

④GFPグローバル産地づくり推進事業への申請

農林水産省が実施している「GFPグローバル産地づくり推進事業」への採択に向け、海外市場のニーズ、需要に応じたロットの確保や相手国の求める農薬規制・衛生管理などに対応した生産・加工体制の構築等を盛り込んだ事業計画を宮城県へ申請し、全額採択された。令和4年度から6年度までの3か年の国庫補助事業として、農林水産物の生産・輸出体制の強化に取り組んでいく

⑤アメリカへの販路拡大に向けた現地視察

在米日本大使館の協力のもとロサンゼルス・ワシントンDCへ赴き、現地輸入業者、量販店、トップシェフたちへのヒアリングや市場調査を通じ、対米輸出の現状の課題を確認した。さらに、この現地調査を契機とした売り込み交渉の結果、帆立貝柱100kg、ササニシキ玄米900kg等を輸出することとなった。

協議会事業者へ、令和3年度の輸出実績に関してアンケート調査を実施したところ、輸出額580,400千円であった。

水産物	農産物	計	参考R2	比較増減
543,178千円	37,222千円	580,400千円	501,099千円	79,301千円